

豪雨災害による財政負担額は いくらか

2億2000万円程度になる



稲留 光晴 議員

7月豪雨は、かつてない被害を本町にもたらしたが、それに対する財政負担額はいくらになるか。

一般財源から 2億2000万円程度

町長

国庫負担金、県補助金などを合わせ、残る一般財源は4億8160万円となるが、激甚災害に指定されたため、その半分となる。

受益者負担額はいくらか

稲留議員

被害額13万円以上40万円未満の水路は10%の受益者負担で、農地は30%の負担となっている

が受益者負担額はいくらか。

現時点で査定中

耕地課長

件数について、現時点で13万以上40万円未満と、40万円以上と合わせて20件申請がきている。受益者負担額は査定中である。

コロナ禍で減収の事業者 労働者の把握はしているか

稲留議員

この半年間で、収入減した事業者や労働者の実態を把握しているのか。

事業所の給与支給状況が 不明のため把握していない

町長

国の持続化給付金対象とならない第3次産業事業者には、本町独自の経営持続化給付金を97件に給付した。各事業所で勤務されている労働者の減収については把握していない。

肥育農家への給付金額は

稲留議員

肥育農家への給付金額はいくらになるか。

予算は140万円である

農林振興課長

本町では4件、頭数については70頭で、予算を140万円計上した。



肥育農家の肥育牛

子牛生産農家への給付金は

稲留議員

子牛生産農家への給付金額はいくらであるか。

予算額660万円である

農林振興課長

肉用牛生産推進緊急対策事業で660万円の予算を計上し166件、440頭である。



セリ価格を見る生産者の方々

給付対象セリ価格はいくらか

稲留議員

コロナ禍のなかで今年2月から5月までの20%減少の給付対象セリ価格はいくらか。

税抜、雌71万7622円、 去勢81万7802円

農林振興課長

税抜で雌71万7622円、去勢81万7802円の2割減少の農家が給付対象であり、一頭につき1万5000円の給付額とした。

各世帯5000円位の商品券配布を要望したが

稲留議員

6月議会一般質問で、一世帯5000円位の商品券を支給できないかと要望したがどうか。

全住民に支給する

企画調整課長

全住民向けに5000円の商品券を10月から順次発送する。

家計応援のための現金 給付の考えは

稲留議員

近隣自治体は、2万円の現金給付を住民に行っているが、本町も支給する考えはないか。

国の動向を注視し検討する

町長

一人当たり5000円の商品券を発行し、生活支援と経済対策の双方の取り組みを実施する。今後、コロナの状況や国の動向も注視しながら検討する。